

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和07年03月31日

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大山崎町												
計画の目標	雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプの耐水化を推進することにより浸水時にもポンプ機能の維持または早期復旧を可能にし、安全で安心な下水道サービスを提供する。 内水浸水想定区域図を作成し、これを基に内水ハザードマップを作成し住民へ内水リスク情報を提供することにより適切な避難行動を促します。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	203	A	203	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度当初	令和6年度末	令和8年度末
1	雨水排水ポンプ場、汚水中継ポンプ場及びマンホールポンプの耐水化率を0%（令和4年度）から100%（令和8年度）とする。 耐水化対策事業の進捗率 対策完了施設 / 対策予定施設（6施設）	0%	83%	100%
2	内水ハザードマップの全戸配布率0%（令和6年度）から100%（令和8年度）とする。 内水ハザードマップの全戸配布（全世帯、事業所、公共施設） 配布戸数 / 町内全戸数（7,300戸）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
大山崎町下水道施設耐水化計画（令和3年度策定）												

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	-	下水道施設耐水化	設計、工事	大山崎町						188		策定済	
		大山崎町下水道施設耐水化計画																		
	A07-002	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	-	-	内水浸水リスクマネジメント事業	内水浸水想定区域図、内水ハザードマップの作成	大山崎町						15		-	
												小計						203		
											合計						203			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

耐水化対策事業の進捗による状況調査。
内水ハザードマップの配布状況調査。

中間評価の実施時期

令和7年4月

公表の方法

大山崎町ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

耐水化事業が確実に実施され、浸水に対する安全・安心が確保されている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

下水道施設の安全度の上昇に比例し、住民による上下水道への満足度も増加している。

特記事項（今後の方針等）

引き続き、ポンプ場など重要な施設での耐水化を進め、安全・安心の向上に努める。
内水ハザードマップの全戸配布を行い、危機管理意識の向上に努める。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	83%	
	中間 目標値	83%
	中間 実績値	75%
2	0%	
	中間 目標値	0%
	中間 実績値	0%